



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 谷川 広美

「私の原点は自治労運動」と話すのは、障労連の西村さん。2面に、「差別禁止部会」委員に就任した上での考えや、取り組みについてのQ&Aを掲載した。20歳の時の交通事故で車いす生活になったこと、道庁に採用された当時の

### 朝風

ことも話してくれた。当時、札幌総支部の人に「組合に入ってほしい」と言われたという。でも加入した。自治労の障労連運動で、果たしてきた役割が今の西村正樹さんを形成している。道内の仲間皆さん、声を届けてください。

## 「プルサーマル計画」反対

# 負の遺産残すなよ!

11月26日、経済産業省は、「泊原発3号機のプルサーマル計画」について、内閣府の原子力安全委員会および原子力委員会の「安全性に問題はない」として「妥当」と答申した。二次審査を受け、2012年春の稼働を正式に許可した。自治労道本部は道平和運動フォーラムに結集し、国が「計画」を許可したことに反対して今後もあきらめず撤回を求めていく。

自治労道本部は、これの危険性を指摘し「計画」撤回を求め運動を強化してきた。また、道本部独自の取り組みでも、関係4町村に申し入れを

11月26日には、「プルサーマル計画」の許可に反対し、緊急に国・北電に対して道内で抗議行動を展開した。

この間、使用済み核燃料再処理工場(青森県六ヶ所村)の相次ぐトラブルや、使用済みMOX燃料の処理方法が決まって

いないこと、また、高速増殖炉「もんじゅ」は、運転再開直後に炉内中継装置を、原子炉容器内に落下させる重大な事故を起こした。現段階でも核廃棄物最終処分地が決定していないなど、国の「核燃料リサイクル」は破綻しているといえる。

さらに、泊原発沖には「新たな活断層の存在」が指摘され、現在「追加の地質・地層調査」を行っている。このような中で、国が「泊原発3号機のプ

### 12・8北海道集会

## 「軍事力」での対抗は限界ある

12月8日、自治労会館で「武力で平和はつくれる! 12・8北海道集会」が開かれ250人が参加した。

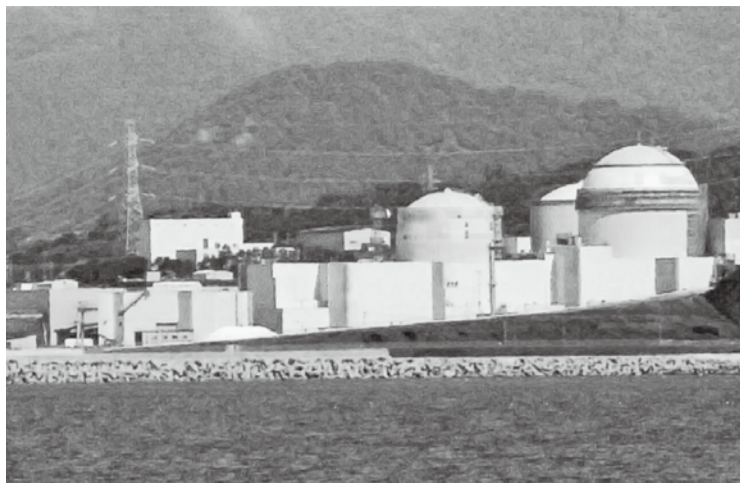
この集会は、1941年12月8日の太平洋戦争開戦を振り返り、二度と

悲惨な歴史を繰り返さないことをスローガンに掲げ、1944年から毎年開かれている。

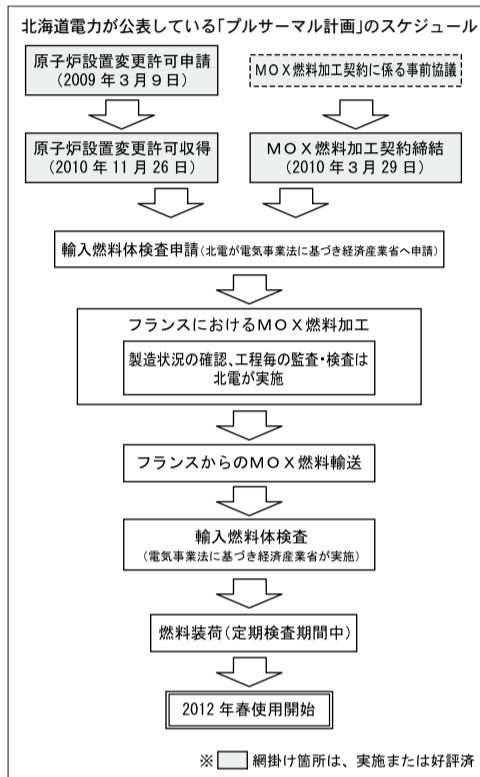
主催者あいさつで、林炳澤さん(戦後60年・北海道行動実行委員会共同代表)は、「北朝鮮の韓国への攻撃で死傷者を出した事件を発端に、日米韓の軍事演習の動きなどが強化されてきている。今集会は東アジアの関係をしっかりと考える時宜になった機会である。日米安保改定から50年、この集会を機に、日本の平和、東アジアの平和を考えてほしい」と訴えた。

集会では、半田滋さん(東京新聞編集委員)が「迷走する普天間問題、指針なき日本の安全保障政策」と題し講演した。

半田さんは「普天間問題も大事だが、年内にも策定される新たな防衛大綱の指針が出されることも重要な要素である。その中で、武器輸出3原則やPKO5原則の緩和など、慎重に見極めていか



「プルサーマル」が「計画」されている泊原子力発電所



北海道電力が公表している「プルサーマル計画」のスケジュール

「皆さんの活動や選挙で平和を勝ちとってほしい」と話す半田滋さん



「皆さんの活動や選挙で平和を勝ちとってほしい」と話す半田滋さん

障労連・西村さん内閣府「差別禁止部会」委員に2面

現業・公企コース/子ども子育て新システム3面

室蘭市職労嘱託協78人で結成/職場だより4面

### 自治労共済のお知らせ

自治労共済道支部は、年末年始の自動車事故対応を下記の期間閉鎖します。

2010年12月28日(火) 16:00から  
2011年1月4日(火) 11:00まで

### 年末・年始 もしもの自動車事故は 安心ダイヤル

自治労共済事故受付センター  
☎ 0120-810-625  
ロードアシスタンスサービスも同じ番号です

## 自治労北海道本部 第113回中央委員会

2011年2月2日(水) 9:00~受付  
9:30開会 17:00閉会予定

場所 北海道自治労会館 (TEL 011-747-1457)  
札幌市北区北6条西7丁目

### JICHIRO スケジュール

2010年12月  
22日(水) 道本部第8回執行委員会 (札幌市)  
28日(火) 道本部旗納め

2011年1月  
4日(火) 道本部旗開き  
6日(木) 道本部第9回執行委員会 (札幌市)  
7日(金) 2011道本部春闘討論集会(～8日、札幌市)  
8日(土) 道本部政治・政策学習会 (札幌市)  
11日(火) 道本部第10回執行委員会 (札幌市)  
14日(金) 道本部青年部第2回幹事会 (定山溪)  
15日(土) 2011道本部青年部春闘討論集会(～16日、定山溪)  
道本部女性部第2回幹事会(～16日、札幌市)

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido  
組合員専用ページは パスワード:jichi2009







# 室蘭市職労嘱託協78人で結成

## 自ら賃金・労働条件を改善

室蘭市職労嘱託職員協議会の結成総会が、11月25日、室蘭プリンスホテルで開かれ約60人が参加した。

松本準備委員会代表は、「この間、市職労の呼びかけで嘱託職員78人が組合に加入した。その中で、自ら劣悪な賃金・労働条件を改善していこう」と、協議会の結成にむけた準備委員会を立ち上げ、協議を重ねてきた」と話した。

室蘭市職労嘱託職員協議会  
2010年11月30日

室蘭市役所職員労働組合 執行委員長 川島 英俊  
室蘭市職労嘱託職員協議会 代表幹事 松本 一志

嘱託職員賃金・労働条件改善要求書

日頃、地方自治の確立と住民生活向上、地域活性化に向け努力されており、貴職に敬意を表します。

本市で雇用されている嘱託職員で構成する「市職労嘱託職員協議会」を、市職労の下に、11月25日に結成しました。

嘱託職員の現状は、ほとんどが正規職員の退職後の不補充の穴埋めとして、本市においては、大量に雇用されています。実情は、多くの嘱託職員は勤務時間こそ短いが、正規職員と同等の業務を行なっています。しかし、賃金・労働条件は劣悪な実態にあり、マスコミでも官製ワーキングプアとして社会問題化しています。

今回、嘱託職員の賃金・労働条件の改善に向けて、下記のとおり要求いたしますので、誠意をもって検討の上、12月15日までに文書を持って回答いただきますようお願い申し上げます。

記

- 恒常的な業務に従事する嘱託職員については、ただちに正規職員とすること。
- 当面、1年ごとの任用とせず、また、任用期限を設けず、雇用の安定のために、長期雇用形態とすること。また、業務が継続し本人が希望する場合は、雇用を継続すること。
- 賃金・労働条件を2010年4月から正規職員に準じて大幅に改善することを基本とし、2008年8月に人事院より出された「非常勤職員の給与に関する指針」をも踏まえ、次の事項を最優先的に実施すること。
  - 基本賃金の大幅引き上げ（最低でも正規職員の9割）と、年齢や経験年数に応じた初任給格付け、定期昇給制度の確立。
  - 年金の支給開始年齢引き上げに伴う雇用と年金の連携を図るため、雇用期間を65歳まで延長すること。
  - 期末手当（6月・12月）の正規職員並み完全支給。
  - 寒冷地手当の正規職員並み完全支給。
  - その他諸手当の制度化・支給。
  - 諸休限制度の確立。
  - 退職手当の制度化・支給。
- 嘱託職員の首切りにつながる職場の民間委託等は行わないこと。また、賃金・労働条件に変更がある場合は、組合との事前協議を遵守すること。

その後、今回の協議会結成に至った経緯、結成の趣旨が提起され、規約案とともに、満場一致で協議会結成が承認された。

協議会役員には、代表幹事に松本さん、副代表幹事に内海さん、橋本さんほか、幹事8人が選出された。続いて、市職労を代表して川島委員長、道本部川本書記長から激励のあいさつがあった。

当面の取組みとして、11月30日に「賃金・労働条件改善要求書」を提出し、団体交渉を行なっていくことを確認した。

この後、和やかにレセプションをおこない、組合員同士の団結を深め合った。

### 職労嘱託職員協議会結成総会



新役員を代表してあいさつする松本代表幹事=11月25日

### 第1回労働福祉講座

## ファイターズと北海道を語る



11月24日、京王プラザホテル札幌で、北海道労働福祉協議会が主催する労働福祉講座が開かれた。これは、昨年末の「研究集会」を、「北海道労働福祉」と名称を改め、リラックスとして参加できる会として開催された。

渡部理事長は、「今回の野球人生について語る白井康勝さんでの『研究集会』を、『北海道労働福祉』と名称を改め、リラックスとして参加できる会として開催された。」と題し講演した。

も参加できるようにした。政治・経済をみていくと世の中がどこにいくの心配している一人である。政治がしっかりとできることはもちろんだが、応援した私たち関係者の責任、生活者としての責任もある。私たちは、労働福祉団体関係者の責任として運動を前進させることが重要だ」と、呼びかけた。

講師には、(株)北海道日本ハムファイターズのアカデミーグループ・グループ長を務める白井康勝さんを迎え、「わたくしの野球人生・ファイターズと北海道を語る」と題し講演した。

白井さんは、野球を始めたきっかけから11年間の紆余曲折を経たプロ生活、プロ野球選手を引退した後の厳しいサラリーマン生活。また、急ぎまわった北海道で2度目の野球人としてのスタート、移転後から現在に至る地域活動について、ユーモアを交えながら1時間たっぷりの話をした。

現在はフィールドクラブ講師として小中学生の指導に当たり、年間120回、道内だけでも80回の野球教室を開き、日本の

地域主権改革が大詰めを迎えています。多くの自治体の皆さんから期待の高い一括交付金の作業が、いよいよ進み、23年度予算では、まず都道府県分補助金の一部から開始で、公のあり方変える大きな一歩を迎え、私の担当する分野でもその成果が着実に見えてきます。

一定の条件に合致するNPO法人などに対して寄付をする個人の税額が控除できるしくみも2011年大変お世話になりました、ありがとうございます。(12月9日東京にて)

ハムファイターズの企業理念でもある、「スポーツと生活が近くにある、心と身体の健康をはぐくむ」ために、地域社会の一員として地域社会との共生を実現するべく、地域での活動を行っている」と熱く語った。

## コミュニケーションが職場改善の源に



### 職場だより

【石狩地方本部発】実はあまり知られていませんが、わが市職労にも女子バレーボールチームがあります。

「石狩市職労女子バレーボールチーム」は華々しい大会の裏で密かに結成し3年目を迎えます。思い返せば2年前、地本

大会でストレート負け(21対0のセットあり)、完敗を喫するという苦い経験がありました。

当時を振り返ると、バレーボール未経験者の加入が多く、とてもスポーツとして試合を楽しむという状況ではありませんでした。

しかし、それ以来、毎週末日に地元の学校の体育館で練習を重ね、新規採用者も加わり、一丸となってチームの強化に邁進してきました。

勤務地から片道60キロ強、往復約130キロの道のりを練習に通っている選手もいます。



団結力と結束力の強い石狩市職労女子バレーチームの皆さん

これらの努力が実り今年初勝利・予選突破を果たすことができました。

また、大会参加がきっかけで、札幌市労、美唄市職労との交流もできました。結成まもないチームですが練習試合など、活発に活動しています。

現代は成績ばかりが評価される傾向にありますが、感銘を受けました。

本大会で大切なことを教えてくれたチームのさらなる躍進に期待が高まるばかりです。(石狩市職労 教

**女性のはたらく権利確立運動強化月間**

問題は解決されるためにある  
～みんなの力で道を開こう～

～職場改善実態調査・権利実態調査～

道本部女性部では、毎年12月から4月までを「女性のはたらく権利確立運動強化月間」と位置づけ、女性が一人の労働者として、健康で安心して働き続けられる職場づくりをめざしています。この調査結果をもとに各単組での要求・交渉につなげます。すべての単組・総支部での取り組みをお願いいたします。

◆2011職場改善実態調査 2011年2月15日(火)道本部締切り  
◆2011権利実態調査 2011年1月20日(木)道本部締切り

**忙中余話**

徐々に寒さになれてきた。元々寒いのが苦手だった私、今回の研修は、10月から3月、北海道本部に決まりました。

「美味いものがたくさん食べられる」という期待よりも、「寒さに耐えられるだろうか」という不安の方が勝っていました。そんな不安も杞憂に終わり、網走地本の単組オルグに同行させて頂き現場の方の実態を垣間見ることができました。確定闘争期の交渉に

同席し、改めて北海道の現状の厳しさを痛感しました。また、幌延テニに参加することで青年の想いを感じることができました。

北海道の美味しいものでも家族を旭山動物園や定山溪やキロロに連れていくことができました。短い期間ではありましたが、今回の研修で抱いた想いとともに、中央本部での運動に邁進できたいと思います。短い間で、お世話になりました。(羽鳥 竜)